

# (参考) 更なる選択肢

## ■ 原則日額化した上で、活動実態に応じて月額で補完する方法 (案3のバリエーション)

原則日額化すべきであり、すべての委員会について勤務日数に応じた報酬を支給することとするが、活動実態によっては、委員会によっては、日額支給のみではすべてを評価しきれない場合もあるのではないかと？



活動実態によって、日額のみですべてを評価しきれない場合には、これを補完するため、月額報酬を併せて支給することとしてはどうか？

	内容	考え方
案	原則どおりすべて日額化した上で、活動日数が一定以上ある場合には、活動実態を踏まえて月額を併せて支給する方法	原則どおりすべて日額化するが、委員会の活動実績(活動日数、内容)により、定量的に把握できない活動や職責があると認められる場合には、月額を補完的に支給する考え方

### 過去3年(H19~H21)の月平均の活動日数

